

シンポジウム「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」の開催について

近年、働き方の改革として、ワーク・ライフ・バランスの実現が国にとっての重要な課題となっています。このシンポジウムでは、その実現のために企業・労使・行政が具体的に何をすべきか、企業の課題克服等の観点から考えます。

- 開催日時 平成 20 年 3 月 17 日(月) 13 時 30 分～17 時 30 分
- 会場 東海大学校友会館(千代田区霞ヶ関 3-2-5 霞が関ビル 33 階)

基調講演「これまでの多彩な人生を振り返って」(仮題)

福原義春 株式会社資生堂 名誉会長

第1セッション

昨年12月に政労使で合意された「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」・行動指針等に沿った今後の実践行動の方向性について、その策定に携わった方々によるパネルディスカッションを行います。

- 憲章・指針の概要報告
樋口美雄(慶応義塾大学商学部教授)
- パネルディスカッション コーディネーター 阿部正浩(獨協大学経済学部准教授)
古賀伸明(日本労働組合総連合会事務局長)／高橋秀夫(日本経済団体連合会参与)
樋口美雄(慶応義塾大学商学部教授)／村木厚子(厚生労働省大臣官房審議官(雇用均等・児童家庭担当))

第2セッション

ワーク・ライフ・バランスの実現において、重要な役割を果たす企業の課題とその克服の処方箋を議論します。特に、本シンポジウムでは企業の生産性向上方策に焦点を当てています。管理職の行動が部下の生産性に与える影響や、職務遂行との葛藤など具体的問題にどう対処すべきか、どこに問題があるのかを研究発表も加えてパネリストの方々に議論していただきます。

- 研究報告「管理職の行動特性と部下の生産性」(仮題)
阿部正浩(獨協大学経済学部准教授)
- パネルディスカッション コーディネーター 樋口美雄(慶応義塾大学商学部教授)
阿部正浩(獨協大学経済学部准教授)／岩切貴乃(株式会社東芝 多様性推進部部長)
奥田祥子(読売ウィークリー編集部記者)／藤木伸彰(共立印刷株式会社取締役管理部長)

●主催 内閣府 ●参加費 無料

●申し込み方法 <http://www.esri.go.jp/jp/workshop/080213/080213main.html>

上記アドレスにて参加登録できます。

●問い合わせ先 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」事務局 Tel: 03-5468-3030